

教科「人間と社会」教科書の改訂について

改訂の趣旨

	教科「人間と社会」(平成 28 年度~)	学習指導要領 (平成 30 年) 改訂の背景	教科「人間と社会」の改訂
目 標	よりよい生き方を主体的に選択し、 行動する力 を育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 変化の激しい社会 ○ Society5.0 時代 } の到来	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成 ・自らの価値観を高める姿勢を育成 ・社会に潜在する課題を発見する力を育成 ○ 改訂の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・探究サイクルの導入
内 容	「 道徳教育 」と「 キャリア教育 」 を一体的に学習	<b style="background-color: #90ee90; padding: 2px;">持続可能な社会の担い手の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働して課題を解決する力 ・新たな価値を創出する力 ・よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力 	総合的な探究の時間 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div> 人間と社会 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> </div>
	「学校設定教科」として設置 69 課程 「総合的な学習の時間」として設置 166 課程	<b style="background-color: #ffffcc; padding: 2px;">探究的な学習など、学びの質の向上が必要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育課程上の扱い 「総合的な探究の時間」での代替が可能

改訂に向けての取組

①リーフレットや**試行版テキスト**、**改訂版教科書**の作成 ②各校の推進者を対象とした研修会等の実施

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
① 教科書等の改訂	◇リーフレットの作成 (平成 31 年度 3 月) <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習を導入した事例の提供 ・「内容の取扱い」における変更点の提示 ◇ 試行版テキスト の作成 (4 月~3 月)	◇ 改訂版教科書 の作成 (6 月~10 月) <ul style="list-style-type: none"> ・試行版テキストに関するアンケート結果の検討 ◇有識者による外部検討 (11 月~12 月) 筑波大学 教授 藤田 晃之 氏 国立教育政策研究所 総括研究官 西野真由美 氏	◇ 改訂版教科書 の使用 (4 月~) ◇改訂版教科書指導資料の作成 (4 月~12 月)
使用教科書	・現行版「人間と社会」教科書	・現行版「人間と社会」教科書 ・ 試行版「人間と社会」テキスト	・ 改訂版「人間と社会」教科書
② 研修	◇推進者研修会の実施 (5 月) <ul style="list-style-type: none"> ・「内容の扱い」における変更点の解説 ・実践事例の紹介 	◇推進者研修会の実施 (8 月) <ul style="list-style-type: none"> ・試行版テキストの活用方法の解説 ・探究活動の進め方の解説と事例紹介 	◇推進者研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・改訂版教科書の活用方法の解説 ・演習と体験活動の在り方についての説明

教科「人間と社会」改訂版教科書の内容について

各章における学びの流れ

- 1 単位 (35 単位時間以上) の必履修
- 各章の学習の流れ

- ・教科書を活用した**演習** (全 19 章から2つ以上を選択・23 単位時間程度)
- ・演習の学びを多角的・多面的に考察するための**体験活動** (12 単位時間以上)

新たに導入

① 単元の基本的な内容に関する学び

- ・《**問いかけ**》
テーマへの理解の深化

② 形成された判断基準を高める学び

- ・《**コラム**》
自らの考えを考察、議論により価値を高揚

③ 人生の諸場面を想定し、 選択・行動する力を育成する学び

- ・《**ケーススタディ**》
選択・議論により選択・行動する力を高揚

④ 学びを通して生まれた疑問点から 「問い」を立てる学び

- ・《**チャレンジ**》
疑問点を文章化し、課題設定へつなぐ。

改訂版

※1: 新規 ※2: 内容を改訂・精査

現行版

章	テーマ	本章で考えること	テーマ
	はじめに※1	「人間と社会」を通して、私たちは何を学ぶのか。	
序章	人間と社会～学習の視点～※2	何を大切にして、どのように生き、そして、どのようにして幸せな世の中にしていくのか。	「人間と社会～学習の視点～」を考える
1	人間関係を築く	人間関係を築くことは、どのような意味があるのか。	人間関係を築く
2	学ぶことの意義	なぜ、私たちは学ぶのか。	学ぶことの意義
3	働くことの意義	働くことは、本当に社会に貢献することにつながっているのか。	働くことの意義
4	役割と責任	なぜ「役割と責任」を果たすのか。	役割と責任を考える
5	マナーとルール	私たちの社会にマナーやルールは、なぜ必要なのか。	マナーと社会のルールについて考える
6	スマートフォン時代のコミュニケーション※2	スマートフォンと共に生きる現代において必要とされるものとは、何か。	ネット時代
7	選択し、行動する	よりよい選択をし、行動するためには、どうすればよいのか。	選択し、行動する
8	チームを動かす力※2	チームで活動するときには、どのような力が必要でしょうか。	チームで活動することの意義
9	ワーク・ライフ・バランス※2	自分が理想とするワーク・ライフ・バランスを実現するには、どうしたらよいのか。	人生とワーク・ライフ・バランス
10	お金の意義	お金はどのような意義をもつのか。	お金の意義について考える
11	消費者市民社会※1	社会や環境などに配慮した消費とは、どのようなものなのか。	
12	支え合う社会	なぜ、人は助け合い、支え合うのか。	支え合う社会
13	地域社会を築く	地域社会は、誰が何のために、築くのか。	地域社会を築く
14	自然と人間の関わり※2	「自然と上手に関わって生きる」とは、どういうことなのか。	自然と人間の関わり
15	科学技術と生命倫理※2	「科学技術の進歩」の中で、「いのちの問題」をどう考えればよいのか。	科学技術の先に… 生命倫理を考える
16	文化の多様性	世界に様々な文化があることは、私たちに何をもたらすのか。	文化の多様性
17	グローバル化が進展する社会	グローバル化が進展する社会の中で、何を大切にして生きていけばよいのか。	グローバル化が進展する社会に生きる
18	国際平和を築く	対立から国際平和を考える上で、大切なことは何か。	対立から国際平和を考える
19	主権者・成年としての権利と責任※2	国を動かす主権をもち、成年になるということは、我々にとって、どういうことなのか。	主権者としての自覚
特集	コロナ後の社会※1		
最終章	人間と社会～これからの生き方～※2	これまで学んだことを生かして、どのようにして幸せな世の中にするのか。	「人間と社会～これからの生き方～」を考える
	おわりに※1	「人間と社会」を通して立てた「問い」から、どのようにして課題を設定するのか。	